

共創型対話学習研究所 機関誌（論文集）

未来を拓く教育実践学研究 第9号

特集「教育における実践の智をつくる

—グローバル時代に対応した共創型対話の再考—

共創型対話学習研究所 編

教室に“対話”を。多様な声が響き合い、学びが創造へ変わる。グローバル時代の“共創型対話”を、理論と実践で解き明かす最新研究紀要。

特集「教育における実践の智をつくる—グローバル時代に対応した共創型対話の再考—」。

巻頭言に続き、対話理論の再検討、科学技術文明と教育、国語科の授業づくり、韓国とのオンライン交流、森の幼稚園の実践など、多様な論考とフィールドが一冊に。学校現場の改善からカリキュラム設計、教員研修まで活用できる、教師・研究者・教育行政に必携の最新号。

◆目次

【巻頭言】教育現実の壁 ●増渕幸男（上智大学 名誉教授）

<特集論文>

共創的対話再考 ●多田孝志（金沢学院大学）

科学技術文明と教育の対話の現在 ●増渕幸男（上智大学 名誉教授）

学校教育における「共創型対話」を通じた資質・能力の育成

一生徒と教員による授業づくりへの提言 — ●青木弘（横浜国立大学）

韓国とのオンライン交流を通じた探究的対話実践

—幼児期における自然との対話—

●岩見理華（兵庫教育大学）・山口智恵（兵庫教育大学大学院（院生））

森の幼稚園でたくましい心と体づくり

—一生徒と教員による授業づくりへの提言— ●山口修司（松江市立中央幼稚園）

同じ立場の他者と対話をすることは何をもたらすか

—信教の自由と医師の救命義務について考える授業から—

●本山修（長野県松本筑摩高等学校）

<自由投稿論文>

小学校外国語教育の再構築 —持続可能な社会・多文化共生・身体性を軸に— ●秦さやか（杉並区立西田小学校）

「主体性」を軸とした教育の価値 —教師集団が価値観を共有することの意義— ●荻野聰（東京学芸大学附属竹早中学校）

デジタル教科書の活用を学校研究に位置づけた小学校における教員の学習指導の特徴

—学習者主体の授業づくりに向けた校内研修を通して— ●小林祐紀（放送大学）・小内慶太（宮代町立須賀小学校）

大学生のミュージカル活動における共創型対話の考察 ●小林恭子（目白大学）

現行小学校歴史教科書におけるアジア・太平洋戦争記述の検討 ●和井田祐司（愛知教育大学）

対話により深い学びに至る授業の日常化に向けて ●坂村昭博（姫路市立御国野小学校） など



◆編者

共創型対話学習研究所

2016年設立。真にグローバル時代を生きる資質・能力、技能もった人間を育成するための対話を活用した学習（対話型学習）の基本的考え方と具体的方途を明らかにし、これからの学びの方向について提案し、学びの質的向上に貢献することを目的に活動している。

ご注文申込書 貴店名 / 帖合	注文数	発行：共創型対話学習研究所 発売：株式会社三恵社 TEL:052-915-5211 FAX:052-915-5019
	冊	共創型対話学習研究所 [編] <h1>未来を拓く教育実践学研究 第9号</h1> 196頁／A5判／並製 定価 2,000円（税別）ISBN978-4-8244-0250-9 C1037
ご注文は、JRCへ FAX：03-3294-2177(TEL：03-5283-2230) 株式会社 JRC 経由で、すべての取り次ぎへの出荷が可能です。返品は長期にお受け致します。		※取次配本はありません。